令和２年度　都立学校・学校経営シート

校章

都立村山特別支援学校　肢体不自由

〇お互いを尊重し、誰もが仲よくできる学校
〇綿密な計画の基、準備をしっかり行う学校
〇整理・整頓に励み、一目瞭然な環境づくりを行う学校

基本情報

所在地	〒 208-0011 武蔵村山市学園四丁目８番地　電話番号 042-564-2781
アクセス	(1)　拝島線・多摩モノレール「玉川上水」駅下車立川バス村山団地行（12分）村山団地下車徒歩8分 (2)　玉川上水駅下車立川バスイオンモール行（10分）東京小児療育病院南下車徒歩5分 (3)　多摩モノレール「桜街道」または「上北台」下車徒歩22分
設置学部	小学部、中学部、高等部
幼児・児童生徒数	総数 122名　（小学部58名、中学部31名、高等部33名）
学級数	40学級　（小学部 19学級、中学部 11級、高等部 10学級）
スクールバス	14台　（大型6台　中型4台 小型4台）
その他	医療的ケアが必要な児童・生徒のための専用通学車両　5台

基本情報

通学区域	立川市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、瑞穂町の全域と及び東村山市と国立市の一部
進路実績	職業訓練校、通所訓練施設　入所施設　就労支援機関　都立高等学校
教育課程の特徴	①　自立活動から高校・大学進学への対応まで、障害の状態・発達段階に応じた指導 ②　PT、OT、ST、ORT、心理職の外部専門指導員からの助言を得た教育活動 ③　企業や作業所における実習や福祉施設での生活体験を段階的に実施 ④　地域のセンター校として、連携・交流による卒業後を見すえた障害等自己理解の支援 ⑤　元校長の授業アドバイザーによる授業研究と専門性の向上の推進
副籍実施状況	小学部　58名中　46名(直接は31名)　中学部　31名中　13名(直接は8名)
学校評価	・回答率　保護者84%、児童・生徒（対象者中の割合）100%、教員100% ・授業満足度　生徒100%、保護者96%
ホームページ	http://www.murayama-sh.metro.tokyo.jp/

目指す学校

児童・生徒の自己理解、自己決定、自己実現の教育を推進し、保護者の期待に応え、
地域の中での役割を果たすため、教職員が一丸となり誠実に謙虚に、努力を継続していく学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価
目標①	**学習指導要領に対応したつながりのある教育課程編成の見直し** ①高等部の新学習指導要領の移行措置を計画的に実施し、単位履修計画を整備する。②小中高の各学部のつながりを明確にするために、カリキュラムマネジメントを取り入れた研究活動を継続する。③行事についての行先の固定化を実施し、安心安全に考慮した実績を重ねる。	
目標②	**ライフ・ワークバランスの徹底** ①ライフ・ワークバランスの実現へ向けて、広くアイディアを募集し、同じ方向を向きながら、対応していく。また、在校時間を自らが把握する習慣をつけ、自己管理の意識を強化する。 ②働き方改革を実施するため、多種多様な勤務形態に対応できる会議の工夫などの組織的な運営を行う。	
目標③	**臨時休業などの対応への柔軟な対策の実施** ①年間授業計画・行事計画を5月以降開始で最大限の教育効果を出せるように、臨時休業期間に見直しを行い整備する。日常的に感染症予防の意識を高め、基本的な行動について習慣化する。②早寝早起きなどの基本的生活習慣の確立を地道に指導し、基礎体力の向上などの強い身体づくりを行う。	

数値目標

	今年度の数値目標の内容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	31年度 実績	今年度 目標	今年度 実績	03年度 目標	04年度 目標	05年度 目標
目標①	大学教授等を招いての、研究会研修会の実施　全校3回　各学部6回	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%
目標②	在校時間を自らが把握する習慣をつけ、月45時間超えを推進する。	15	13	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%
目標③	臨時休業等の緊急対応への理解の推進	100%	100%	100%	90%	100%	100%	100%		100%	100%	100%